

# 四半期報告書

(第13期第1四半期)

日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	6
1 【株式等の状況】 .....	6
2 【役員の状況】 .....	7
第4 【経理の状況】 .....	8
1 【四半期連結財務諸表】 .....	9
2 【その他】 .....	16
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	17

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第13期第1四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

【会社名】 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

【英訳名】 Medical Net Communications, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平川 大

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号

【電話番号】 (03) 5790-5261

【事務連絡者氏名】 管理部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号

【電話番号】 (03) 5790-5261

【事務連絡者氏名】 管理部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第1四半期 連結累計期間	第13期 第1四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高 (千円)	257,817	282,936	1,163,377
経常利益 (千円)	21,945	26,772	119,969
四半期(当期)純利益 (千円)	10,517	12,798	63,311
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	10,490	12,628	64,919
純資産額 (千円)	1,074,327	1,159,057	1,151,816
総資産額 (千円)	1,396,856	1,520,046	1,551,162
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	2.05	2.38	12.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1.95	2.38	11.75
自己資本比率 (%)	76.85	74.94	72.94

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権が打ち出した経済対策や日銀による金融緩和策に対する期待感から、円安や株価の回復が進み、昨年末以来、景気回復の傾向が続いておりました。しかしながら、雇用・所得環境の改善の遅れや消費マインドの改善の足踏み、米国における量的金融緩和の縮小観測の高まりから、調整局面となり先行き不透明な状態が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、当社グループが運営するポータルサイトの充実とともに、保証事業、医療BtoB事業、人材キャリア事業等の新規事業の拡大に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は282,936千円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は26,494千円（前年同四半期比23.0%増）、経常利益は26,772千円（前年同四半期比22.0%増）、四半期純利益は12,798千円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

なお、セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① ポータルサイト運営事業

ポータルサイト運営事業においては、歯科分野及び美容・エステ分野を中心に「インプラントネット」、「エステ・人気ランキング」等のポータルサイトを運営しております。

当第1四半期連結累計期間においては、各運営サイトの認知度向上を図ると共に、スマートフォンサイトの特集や広告枠の追加を通じて、販売拡大に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は153,578千円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は96,065千円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

## ② SEM事業

SEM事業においては、当社ポータルサイトのクライアントを中心に積極的にSEOサービス及びリスティング広告（検索連動広告）運用代行サービスの販売に努めましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は62,158千円（前年同四半期比24.0%減）、セグメント利益は1,867千円（前年同四半期比39.6%減）となりました。

## ③ 保証事業

保証事業においては、連結子会社の株式会社ガイドドントを通じて、歯科自由診療を行う歯科医院のうち、当社グループが定める基準を満たした歯科医院（認定会員）に対して、治療前に登録した治療に関して治療後に再治療が発生した際の費用を保証するサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、認定会員や保証件数の拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,966千円（前年同四半期比23.3%増）、セグメント損失は5,454千円（前年同四半期は、セグメント損失5,083千円）となりました。

## ④ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のブランネットワークス株式会社を通じて、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、基盤となる会員数の増加や営業力強化に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,987千円、セグメント損失は1,853千円となりました。なお、医療BtoB事業は、前連結会計年度の第2四半期より連結の対象としているため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

## ⑤ その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンス、販売代理、人材キャリア事業等を展開しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は33,795千円（前年同四半期比7.0%増）、セグメント損失は6,145千円（前年同四半期は、セグメント損失4,559千円）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,520,046千円となり、前連結会計年度末に比べ31,116千円（前連結会計年度末比2.0%減）の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

### ① 資産の部

#### (流動資産)

流動資産は、現金及び預金が減少したことにより1,201,638千円となり、前連結会計年度末に比べ124,634千円（前連結会計年度末比9.4%減）の減少となりました。

#### (固定資産)

固定資産は、主に有価証券の購入により、投資その他の資産のその他が増加したため、318,407千円となり、前連結会計年度末に比べ93,518千円（前連結会計年度末比41.6%増）の増加となりました。

### ② 負債の部

#### (流動負債)

流動負債は、買掛金及び未払法人税等の減少により、352,882千円となり、前連結会計年度末に比べ38,512千円（前連結会計年度末比9.8%減）の減少となりました。

#### (固定負債)

固定負債は、保証件数の増加に伴うインプラント保証の支出に備える引当金の増加により、8,106千円となり、前連結会計年度末に比べ154千円（前連結会計年度末比1.9%増）の増加となりました。

### ③ 純資産の部

純資産は、剰余金の配当を行った一方、四半期純利益を計上したことにより1,159,057千円となり、前連結会計年度末に比べ7,241千円（前連結会計年度末比0.6%増）の増加となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。



### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,386,500	5,386,500	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、 株主としての権利内容に 何ら限定のない当社にお ける標準となる株式であ ります。 また、1単元の株式数は 100株となっております。
計	5,386,500	5,386,500	—	—

- (注) 1. 発行済株式のうち、200,000株は、現物出資（サーバ3台 カラーレーザー1台 240万円）によるものであります。
2. 提出日現在発行数には、平成25年10月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	—	5,386,500	—	286,034	—	261,034

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,385,400	53,854	権利内容に何ら制限のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,100	—	—
発行済株式総数	5,386,500	—	—
総株主の議決権	—	53,854	—

(注)「単元未満株式」の株式数の欄には、自己株式34株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

(注)当社は、単元未満自己株式34株を保有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	934,009	809,978
売掛金	170,039	177,270
前払費用	170,421	168,104
その他	62,220	55,114
貸倒引当金	△10,417	△8,827
流動資産合計	1,326,273	1,201,638
固定資産		
有形固定資産	14,185	13,296
無形固定資産		
のれん	134,854	133,070
その他	28,548	24,562
無形固定資産合計	163,402	157,632
投資その他の資産		
その他	57,933	159,013
貸倒引当金	△10,633	△11,534
投資その他の資産合計	47,300	147,478
固定資産合計	224,889	318,407
資産合計	1,551,162	1,520,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,166	8,369
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	36,695	16,354
前受金	217,198	224,293
賞与引当金	—	10,277
ポイント引当金	—	434
その他	100,334	83,152
流動負債合計	391,395	352,882
固定負債		
インプラント保証引当金	7,951	8,106
固定負債合計	7,951	8,106
負債合計	399,346	360,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	583,726	591,138
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,130,761	1,138,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	712	899
その他の包括利益累計額合計	712	899
少数株主持分	20,342	19,984
純資産合計	1,151,816	1,159,057
負債純資産合計	1,551,162	1,520,046

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	257,817	282,936
売上原価	129,342	134,960
売上総利益	128,475	147,975
販売費及び一般管理費	106,932	121,481
営業利益	21,542	26,494
営業外収益		
受取利息	81	80
その他	321	322
営業外収益合計	403	402
営業外費用		
社債利息	—	125
営業外費用合計	—	125
経常利益	21,945	26,772
税金等調整前四半期純利益	21,945	26,772
法人税、住民税及び事業税	15,244	15,563
法人税等調整額	△3,815	△1,232
法人税等合計	11,428	14,331
少数株主損益調整前四半期純利益	10,517	12,440
少数株主損失(△)	—	△358
四半期純利益	10,517	12,798

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,517	12,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	187
その他の包括利益合計	△26	187
四半期包括利益	10,490	12,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,490	12,986
少数株主に係る四半期包括利益	—	△358

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
減価償却費	5,761千円	5,161千円
のれんの償却額	918 "	1,783 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月29日 定時株主総会	普通株式	10,267	2	平成24年5月31日	平成24年8月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月29日 定時株主総会	普通株式	5,386	1	平成25年5月31日	平成25年8月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	135,694	81,825	8,819	—	226,338	31,479	257,817
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	76	—	76	116	192
計	135,694	81,825	8,895	—	226,414	31,595	258,009
セグメント利益 又は損失(△)	83,968	3,094	△5,083	—	81,979	△4,559	77,419

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	81,979
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△4,559
全社費用(注1)	△56,577
その他の調整額(注2)	700
四半期連結損益計算書の営業利益	21,542

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	153,578	62,158	10,966	22,597	249,301	33,634	282,936
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	390	390	160	550
計	153,578	62,158	10,966	22,987	249,691	33,795	283,486
セグメント利益 又は損失(△)	96,065	1,867	△5,454	△1,853	90,624	△6,145	84,478

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	90,624
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△6,145
全社費用(注1)	△60,250
その他の調整額(注2)	2,266
四半期連結損益計算書の営業利益	26,494

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」に含めておりました「保証事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前連結会計年度より、子会社化したブランネットワークス株式会社の行う「医療BtoB事業」について単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2円05銭	2円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	10,517	12,798
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	10,517	12,798
普通株式の期中平均株式数(株)	5,136,004	5,386,466
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1円95銭	2円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	249,247	3,450
(うち新株予約権)(株)	(249,247)	(3,450)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 芳 幸 ⑩

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 土居 一 彦 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

# 確認書

(第13期第1四半期)

日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

**【表紙】**

**【提出書類】** 確認書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の8第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年10月11日

**【会社名】** 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社

**【英訳名】** Medical Net Communications, Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 平川 大

**【最高財務責任者の役職氏名】** 該当事項はありません。

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長平川大は、当社の第13期第1四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。